

平成31(2019)年度 江戸川区立小岩第三中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	・自他を大切にし、思いやりのある人 ・心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ・積極的に学習し、考えて行動できる人 ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	目指す学校像・・・校訓である「公徳」「礼讓」「明朗」な生徒の育成を目指す学校 ～江戸川一面倒見の良い学校～ 目指す生徒像・・・①自ら考え、判断、行動し、確かな学力を身に付ける姿勢をもつ生徒 ②規範意識・人権意識を身に付け、豊かな心をもつ生徒 ③自主性・社会性を持ち、地域に貢献する生徒 目指す教師像・・・①確かな教科指導力・生徒指導力を身に付けるため研鑽を重ねる教師 ②生徒の将来を展望し、生徒一人ひとりの理解に努める教師 ③保護者・地域から信頼され、愛される学校づくりに邁進する教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞スーパーアクティブスクール指定校、江戸川区教育課題実践推進校としての研究を通し、新学習指導要領に沿った教育課程の工夫・改善を進めてきた。その成果として、心身ともに健全で、思考力・判断力・表現力を身に付けた生徒の育成を進めている。 ＜課題＞教職員の働き方改革を進めながら、前年度までの指導を継続・発展させていく必要がある。また、ICT機器を積極的に授業に取り入れるなど、教科指導法の改善を進めるための研修を積み上げていく。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・小中連携の日の授業公開 ・出前授業（英語） ・部活体験の実施 ・小学校行事への生徒参加	・学区内の全小中学校で1回ずつ英語の出前授業を実施。 ・年2回、小中連携の日において授業公開を実施。	A	A	・現時点では予定通り実施している。部活体験の日程・方法を昨年度から変更したので、児童の参加状況を確認し、次年度へ繋げる。	A	引き続き、連携を続けてほしい。	・今後も交流を継続していく。来年度は6年生の授業を中学校で実施していく。
	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・ICT校内研修会の実施 ・授業を見合う週の実施 ・道徳研究授業の実施	・年3回、ICT研修を実施。 ・道徳の校内研究授業を11月に実施（第1学年）。	A	B	・プロジェクター等のICT機器を効果的に活用した授業を全教員が実施できるようにする。	A	生徒の興味を引き付ける授業をしてほしい。	・道徳の研究授業を通し、新学習指導要領に沿った道徳の授業を引き続き推進していく。
教員の資質向上	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・教育相談の実施 ・校内委員会での情報交換	・SCとの情報交換を密にし、共通理解を図る。	A	A	・次年度からの巡回指導について、教職員の共通理解を図る。	A	SCがよく相談に乗ってくれている。	・エンカレッジルームを有効に活用するために、研修、実践を進めていく。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	・授業を見合う週で互いの授業を見合い、授業改善に繋げる。 ・長期休業日や放課後に補習を行う。	・全国、都の学力調査で都平均を上回る。 ・授業を見合う週を年3回実施する。	A	A	・全国学力調査ではほぼすべての教科で都平均を上回り、都学力調査でも2教科で都平均を上回った。 ・授業を見合う週でも多くの教員が他の教員の授業を見学している。	A	落ち着いた授業を受けている生徒が多い。	・到達度テストの結果等も分析し、教科間での話し合いを密にとり、学力向上に努める。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	・ビブリオバトル（1・3年） ・おすすめ本ポスター作成（1・2年） ・ブックトーク（1・2年） ・調べ学習（全学年）	・区の研究指定校として、10月に研究発表会を行う。	A	A	・2年間を通し、豊かな心と表現力を育む読書活動を実施。その成果として、読書に親しむ生徒が増え、思考力・判断力・表現力も身に付いてきている。 ・学校図書館やインターネットを利用し情報を収集・分析をしてまとめる力が身についてきている。	A	スマホやゲームばかりではなく、本が好きな生徒が多くなってほしい。	・2年間の研究の成果を生かし、継続・発展させていく。来年度も継続発展させ、読書科の充実を図る。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・授業開始時の補強運動 ・クロスカントリー大会の実施	・都統一体力テストにおいて、Tスコア50以上を維持する。	A	A	・保健体育の授業や運動部の部活動に生徒は意欲的に参加している。連合陸上大会でも好成績を残すことができた。	A	今後も、活気のある学校であってほしい。	・運動部に所属していない生徒についても、自ら体力向上に取り組むよう、意識付けさせる。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	・オリパラ講演会の実施 ・オリパラコーナーの掲示物更新	・10月にオリパラ講演会を実施 ・オリパラコーナーを充実させていく	A	B	・2020年に向け、生徒の意識を高めていくためにも、オリパラコーナーをさらに充実させる。	B	・同窓会講話でも、カヌー競技の話をする事ができた。	・再来年度に向け、生徒の気持ちを高め、引き続き推進していく。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALTの計画的な活用 ・英検の実施	・年3回校内で英検を実施。 ・英語科教員の授業力の向上	A	A	・例年通り英検を実施し、受験する生徒も増えている。 ・小中学校との連携を密にし、英語の授業の小中連携を進めていく。	A	・生徒が楽しそうに英語を話す活動に参加している。	・英語を「話す」力を定着させるため、パフォーマンステストを実施していく。